

平成26年度

**全国学力・学習状況調査の
結果について**



海老名市立社家小学校

全国学力・学習状況調査について	P. 1
「国語に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 2
「算数に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 3
「児童質問紙の結果より」と「今後の具体的な取組」	P. 4
ご家庭で取り組んでいただきたいこと	P. 5
(資料) 指導や学習・生活習慣と学力との関係	P. 6



全国学力・学習状況調査について

全国学力・学習状況調査は、平成19年度に始まった全国一斉の調査です。平成22～24年度は抽出調査（平成23年度は震災の関係で実施を中止）でしたが、昨年度から再び、全国すべての小中学校が対象となりました。

◆ 調査の目的

- (1) 児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

◆ 調査の対象

国・公・私立学校の以下の学年、原則として全児童生徒

- ・ 小学校第6学年
- ・ 中学校第3学年

◆ 調査内容

- (1) 教科に関する調査

【小学校】

国語A・算数A（主として「知識」に関する問題）

国語B・算数B（主として「活用」に関する問題）

【中学校】

国語A・数学A（主として「知識」に関する問題）

国語B・数学B（主として「活用」に関する問題）

「主として『知識』に関する問題」とは？

これからの学習や生活をしていく上で、確実に身につけておかなければならない基礎的な力を調査する問題

「主として『活用』に関する問題」とは？

身につけた基礎的な力を生かして様々な問題を解決したり、工夫して生活したりする力を調査する問題

- (2) 児童生徒に対する質問紙調査

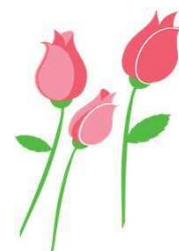
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問

- (3) 学校に対する質問紙調査

指導方法や取組、人的・物的な教育条件の整備の状況等

◆ 調査実施日

平成26年4月22日（火）



国語に関する調査結果

国語 A

(主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

- 「話す・聞く能力」に優れている。
- 漢字を読む問題において、相当数の児童が「標識」「街灯」を正しく読むことができ漢字を書く問題において、「さら(皿)」「よぼう(予防)」を正しく書くことができている。
- 仮定の表現「～ならば」「～だったら」「～であれば」について、相当数の児童が理解できている。
- 話合いの記録の仕方として適切なものを選ぶ問題において、相当数の児童が話合いの観点に基づいて情報を関連付けることができている。
- 全体的に無解答率が低く、粘り強く設問に取り組んでいる。

《努力を要する所》

- 「読む能力」に努力を要する。
- 漢字を書く問題において、第4学年の既習漢字である「いわう(祝う)」に誤答や無解答が多く、課題がある。
- 故事成語の使い方として適切なものを選ぶことに課題がある。

国語 B

(主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

- 「話す・聞く能力」に優れている。
- 司会の発言の内容をまとめ、決められた字数で書く問題において、相当数の児童が目的に応じて話合いの観点を整理することができている。
- 科学に関する文章などを効果的に読む問題において、相当数の児童が付箋に書かれた内容を関係付けながら、最初にもった疑問を捉えることができている。
- 二つの詩を比べて読み、適切なものを選ぶ問題において、相当数の児童が詩の表現の工夫を捉えることができている。
- 最後まで粘り強く設問に取り組んでいる。

《努力を要する所》

- 「書く能力」に努力を要する。
- 立場を明確にして、質問や意見を述べることに課題がある。特に文中の言葉を「」を使い引用して書くことに課題がある。
- 分かったことや疑問に思ったことを整理し、それらを関係付けながらまとめて書くことに課題がある。
- 二つの詩を比べて読み、自分の考えを書くことに課題がある。

今後の具体的な取組

- 書く力を高める指導の工夫をします。
 - ・国語の時間をはじめ、すべての教科において、さらに文章を書く活動を取り入れます。
 - ・学習の振り返りをノートに書く、決められた条件で文章を書く、比べたりまとめたりして自分の考えを書くなど、活動や場面を工夫して取り組みます。
 - ・現在も行っている日常生活や行事等について、書く活動をさらに充実させます。
- 話す・聞く力の向上が見られます。継続的に指導の工夫をします。
 - ・話をしっかり聞くことの大切さを伝えるとともに、あらゆる場面において、相手に質問をしたり自分の考えを話したりする機会を設けます。
- 朝読書の充実を図るとともに、家庭と協力して読書活動を推進します。



算数に関する調査結果

算数 A

(主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

- 整数、小数、分数の四則計算については、相当数の児童ができています。
- 二つの数量の関係について、単位量あたりの大きさを調べる場面と図とを関連付けることは、相当数の児童ができています。
- 直径の長さを用いて円周を求めることは、相当数の児童ができています。
- 体積の単位(1立方センチメートル)による直方体の体積の測定について理解することは相当数の児童ができています。
- 四則の混合した式の意味を考え、具体的な場面を選択することは、相当数の児童ができています。
- 二つの数量の関係を□、△など記号を用いて式に表すことは、相当数の児童ができています。
- 全体的に無解答率が低く、粘り強く設問に取り組んでいる。

《努力を要する所》

- 割合が1より小さい場合でも比較量の求め方が、基準量×割合になることの理解に課題がある。
- 作図をする際に用いられる、平行四辺形の性質を判断することに課題がある。

算数 B

(主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

- 示された場面から計算の結果の見通しをもち、2位数×1位数の筆算をすることは相当数の児童ができています。
- 示された場面から基準量と比較量を捉え倍を求めることは相当数の児童ができています。
- 学校の水の使用量を棒グラフに表す問題において、最大値に着目して、棒グラフの棒を枠の中に表すことができない理由を言葉と数を使って説明することは、相当数の児童ができています。
- 設問全体を通して、学習指導要領のどの領域についても、バランスよく理解できている。全体的に無解答率が低く、粘り強く設問に取り組んでいる。

《努力を要する所》

- 示された情報を基に必要な量と残りの量の大小を判断して、その理由を言葉と数を使って説明することに課題がある。
- 示された情報を解釈し、基準量の1.5倍の長さを表している図を選択することに課題がある。
- 示された情報を整理し、筋道を立てて考え、小数倍の長さの求め方を言葉や式を用いて記述することに課題がある。

今後の具体的な取組

- 基礎基本の定着のため、朝自習や家庭学習の場を利用して繰り返し学習し、算数スキルを高めます。
- 算数的活動を通して理解を深め、学ぶ意欲を高める指導の工夫をします。
 - ・身体を使ったり、具体物を用いたりする活動や考えたことを表現する活動を工夫するとともに、生活や様々な場面で活用できる指導を充実します。
- 問題を解決した過程を説明する活動の工夫をします。
 - ・問題から必要となる情報を選び、その情報を関連付けて、根拠となる事実や判断の理由を言葉や数、式、図、表、グラフなどを用いて説明する活動を学習の中にさらに多く取り入れます。



児童質問紙の結果より

学習について

《よかった所》

○学習に対する関心・意欲が高い。

勉強は大切だと思うと回答した児童は、国語(約93%) 算数(約93%)。また、勉強は将来役に立つと思うと回答した児童は、国語(約87%) 算数(約89%) 総合(約87%)と比較的高い。

算数の授業では、公式や決まりを習うとき、わけを理解するようにしている(約87%)、もっと簡単に解く方法はないかを考える(約84%)、新しい問題に出合ったとき解いてみたいと思う(約82%)、話し合う活動で友達の話や意見を最後まで聞く(約96%)など、意欲の高さが見られる。

○家庭での学習時間が確保されている。

家で学校の宿題をすると回答している児童は100%である。また、家で学校の授業の予習をしている(約59%)、復習をしている(約69%)と回答していて、これは、全国平均よりもかなり高い割合となっている。

《課題と思われる所》

○表現することに自信がない。

友達の前で自分の考えや意見を発表するのが得意(約44%)、原稿用紙2~3枚の感想文や説明文を書くのは難しい(約59%)、自分の考えを他の人に説明したり文章に書いたりすることは難しい(約58%)という設問では、半数近い児童が表現することの難しさを感じている。

○読書量が少ない。

1日当たりの読書の時間では1日30分より少ない(約64%)、新聞をほとんどあるいはまったく読まない(約60%)と、読書時間は少ない。

生活について

《よかった所》

○自尊心・規範意識が高い。

ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある(約98%)、自分にはよいところがあると感じている(約84%)と回答し、自尊心が高い。また、学校の決まりを守っている(約93%)、友達との約束を守っている(約96%)、人の気持ちが分かる人間になりたい(約96%)、人の役に立つ人間になりたい(約95%)と回答した児童が多く、規範意識が高い。

○基本的な生活習慣が身に付いている。

朝食を毎日食べ(約95%)、毎日同じ時刻に寝る(約91%)、同じ時刻に起きている(約96%)。

○概ね安心した学校生活を送っている。

学級みんなでやり遂げうれしかったことがある、先生は自分のよいところを認めてくれていると思う、学校に行くのは楽しい、と回答した児童は、ともに約87%である。

《課題と思われる所》

○テレビやゲームの時間が多い。

1日あたりテレビ、ビデオ、DVDを2時間以上見ている児童(約71%)、4時間以上見ている児童(約27%)。1日あたり2時間以上テレビゲームをしている児童(約35%)。4時間以上見ている児童(約15%)。

○地域への関心は高くない。

地域社会をよくするために何をすべきか考えることがあるという児童は約40%である。

今後の具体的な取組

○表現することに自信が持てるようにする取組みを工夫します。

意見を発表したり、司会進行をしたりする機会を設定し、みんなの前で意見を述べることへの抵抗感がなくなるような指導を工夫します。また、文章を書く活動を取り入れるとともに、その作品を紹介しあい、互いのよいところを認め、自信が持てるようにします。

○基本的な生活習慣を身に付けさせるため、家庭との連携を密にします。

引き続き、規則正しい生活習慣の大切さについて保護者への情報発信に努めます。宿題や家庭学習の取組み方を家庭に知らせ、保護者と協力して児童の学習を支援します。

○これからも児童の学習意欲や自尊心を大切にしたい指導を目指します。

学校生活の様々な場面で、児童の活動のよさを認め励まし、意欲を引き出す声かけや適切な指導を心がけ、最後までやり遂げたという達成感を味わわせる体験を大切にします。



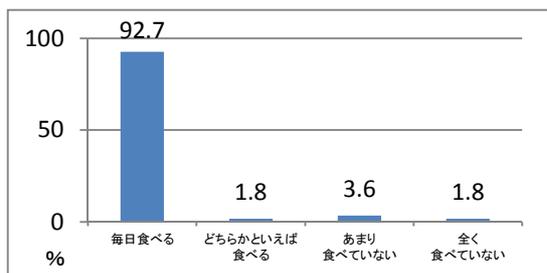
ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成26年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい6つの項目」をまとめました。できることから、ぜひ、始めてみてください。

1 毎日朝食をとり、規則正しい生活をしましょう。

早寝早起きをして朝食を食べ、トイレを済ませて登校することで、学習に集中できます。

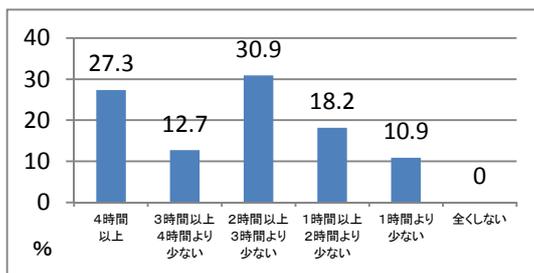
朝食を毎日食べていますか。



2 家庭で守るルールを決めましょう。

家庭学習や外遊び、家族の団らんや睡眠時間の確保のためにも、ルールを決めましょう。

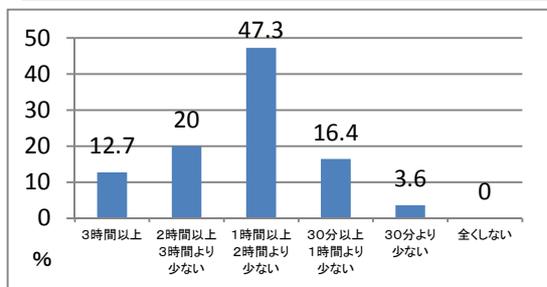
普段一日当たりどれぐらいの時間テレビ・ビデオ・DVDを見ますか。



3 家庭でも学習をする習慣を付けましょう。

10分間×学年の家庭学習に取り組んでいます。宿題の確認も一緒にお願いします。

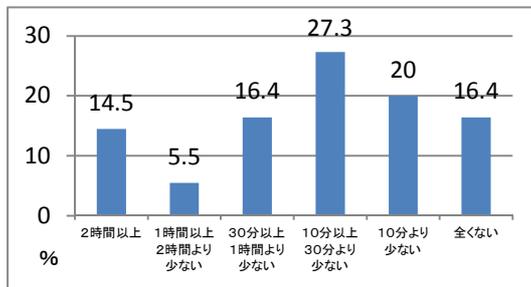
普段、一日当たりどれぐらいの時間勉強をしますか。



4 本や新聞を読む習慣を付けましょう。

読書が好きと答えた児童は8割以上でしたが読む時間は確保できていないようです。

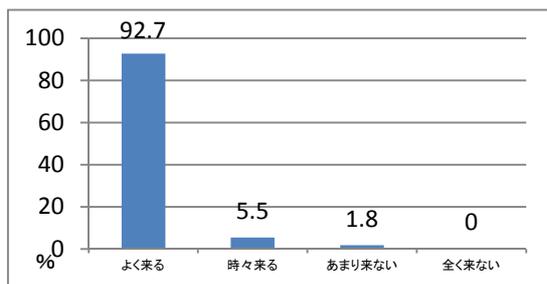
一日当たりどれぐらいの時間読書をしますか。



5 授業参観や学校行事に参加しましょう。

学校で頑張っていることやよいところを見つけ、認め励ますことで、やる気が育ちます。

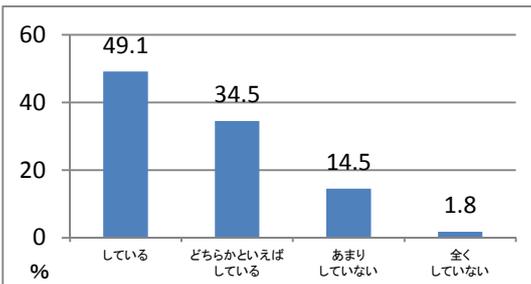
家の人が授業参観や学校行事に来ますか。



6 家族との会話の時間を大切にしましょう。

家庭でのコミュニケーションが豊かな子は、安心して学校生活を送り、頑張る力がわきます。

家の人と学校での出来事を話しますか。



資料

指導や学習・生活習慣と学力との関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ており、今後の指導や家庭・地域への呼びかけに生かして行きたいと考えています。

学校における指導と学力との関係

次のような指導を行った学校ほど、教科の平均正答率が高い傾向にある。
さらに、学習意欲や家庭での学習時間等についても高い傾向にある。
(教科に関する調査、学校質問紙調査より)

【指導方法・学習規律】

- ・ 学習規律(私語をしない、話をしている人の方を向いて聞くなど)の維持徹底
- ・ 学習方法(適切にノートをとる、テストの間違いを振り返って学習するなど)に関する指導
- ・ 学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与える
- ・ 本やインターネットなどを使った資料の調べ方が身に付くよう指導

【国語科・算数科の指導方法】

- ・ 発展的な学習の指導
- ・ 国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業、書く習慣を付ける授業、様々な文章を読む習慣を付ける授業
- ・ 算数の指導として、実生活における事象との関連を図った授業

【言語活動】

- ・ 各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付ける
- ・ 様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導
- ・ 発言や活動の時間を確保した授業
- ・ 学級やグループで話し合う活動
- ・ 資料を使って発表ができるよう指導
- ・ 自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導

【総合的な学習の時間】

- ・ 総合的な学習の時間における探究活動(課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導)

【家庭学習】

- ・ 調べたり文章を書いたりする宿題を与える

【研修】

- ・ 教職員が、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映

児童の学習・生活習慣と学力との関係

次のような児童ほど、教科の平均正答率が高い傾向にある。
(教科に関する調査、児童質問紙調査より)

【教科への関心・意欲・態度】

- ・ 国語、算数に対する関心・意欲・態度が高い

【家庭学習・読書】

- ・ 学校の授業時間以外での学習時間が長い
- ・ 自分で計画立てて勉強をする
- ・ 学校の宿題、授業の予習・復習をする
- ・ 読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

【学校生活】

- ・ 学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある
- ・ 先生は、自分のよいところを認めてくれると思う

【基本的生活習慣】

- ・ 朝食を毎日食べる
- ・ 毎日、同じぐらいの時刻に寝る

【メディアとの関係】

- ・ 携帯電話やスマートフォンで通話・メール・インターネットをする時間が短い
- ・ テレビゲームをしている時間が短い

【家庭でのコミュニケーション等】

- ・ 家の人と学校での出来事について話をする
- ・ 家の人は、授業参観や運動会などの学校行事に来る

【社会に対する興味・関心】

- ・ 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
- ・ 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある
- ・ 新聞を読んでいる
- ・ テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る

【自尊意識・規範意識】

- ・ ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
- ・ 学校のきまり・規則を守っている
- ・ 人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

「えびなっ子しあわせプラン」ってなあに？

「えびなっ子しあわせプラン」は今年度から平成28年度までの3年間の海老名市の教育プランです。

ひとりひとりの海老名の子どもが、将来、しあわせに生きるために必要な「3つの力」を小・中学校の義務教育9年間で、学校や家庭、地域の教育をとおして、確実に身につけることを目的としています。

◇◆しあわせに生きるために必要な「3つの力」◆◇

学 力

大人になっても学習をつづけるために
基礎的な学力と学習意欲を身につけよう！



.....
教員の授業力を高めます。（授業改善の取組）



.....
小中一貫教育を進めます。（試行校での研究）



.....
市費の教員やボランティアを配置します。

集団力

人間関係を作り、集団の中で自分の役割を果たし、
自分を生かす力を身につけよう！



.....
人間関係作りの学習計画を作成します。



.....
いじめや不登校の問題に積極的に取り組みます。

健康安全力

自分の健康や安全に気をつけて、
いつまでも楽しく生活する力を身につけよう！



.....
体力・運動能力の向上をめざします。



.....
自分の命を守るための学習計画を作成します。

学校と家庭と地域がスクラムを組んで子どもを支えます



みなさまのご理解とご協力をよろしくお願いします。

海老名市教育委員会



平成26年12月